



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社サンマルクホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二 (TEL) 086 (246) 0309
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	9,820	7.9	1,466	19.3	1,487	19.6	599	△12.0
22年3月期第1四半期	9,103	5.2	1,229	△16.7	1,243	△16.5	681	△18.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	52.97	—
22年3月期第1四半期	60.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	34,140	27,565	80.7	2,433.86
22年3月期	34,251	27,497	80.3	2,427.80

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 27,565百万円 22年3月期 27,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	39.00	—	46.00	85.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		42.50	—	42.50	85.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期（累計）	20,049	8.3	3,262	12.6	3,267	11.5	1,523	△2.6
通期	41,319	9.5	6,791	9.4	6,800	8.2	3,380	3.9
								298.43

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無
② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期1Q	11,388,685株	22年3月期	11,388,685株
② 期末自己株式数	23年3月期1Q	62,755株	22年3月期	62,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期1Q	11,325,930株	22年3月期1Q	11,326,081株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報「参考資料」	9
(1) 仕入実績	9
(2) 販売実績	9
(3) 種類別販売実績	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復を背景にアジア等を中心とした輸出の増加や、エコポイント・エコカー減税等の政策による景気浮揚効果の継続などにより、緩やかながらも全般的に景気回復基調を辿っておりますが、ギリシャ危機に端を発した欧州の信用不安や円高、株安等に抑えられ、今後の景気への悪影響は予断を許さない状況で推移しております。

外食産業におきましては、好転しない雇用情勢・所得環境が響き、相変わらず消費者の節約志向は根強く、一部の低価格業態を除いては総じて厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは多業態展開と安定した成長戦略のもと、各業態に適した好立地を厳選しながら計画的な新規出店を推進しつつ、既存店舗における営業状態の改善や販売促進策に注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第1四半期連結会計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営1店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営1店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営2店舗、広東炒飯店（石焼ごはん倶楽部・石焼チャーハン店）直営3店舗、サンマルクカフェ直営9店舗、実験中の神戸元町ドリア直営1店舗、倉敷ハンバーグ直営1店舗をそれぞれ出店し、これにより当社グループ全業態の第1四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店487店舗、フランチャイズ店133店舗、合計620店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高98億20百万円（前年同期比7.9%増）、経常利益14億87百万円（同19.6%増）、四半期純利益5億99百万円（同12.0%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間において、資産除去債務に関する会計基準の適用により、直営店における将来の撤去・原状回復費用を見積り、過年度相当額3億61百万円を特別損失として一括計上しております。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は53億71百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は9億73百万円（同8.2%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は39億95百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は6億89百万円（同22.1%増）となりました。

(注) 当第1四半期連結会計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は後記8ページ「(5)セグメント情報 2. 事業の種類別セグメント情報」の調整額の欄に開示しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は341億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億11百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は95億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億33百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の支払等に伴い現金及び預金が10億31百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は245億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億22百万円増加となりました。これは資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う建物及び構築物7億72百万円、事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物2億71百万円及び敷金及び保証金1億49百万円が増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は39億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億79百万円の減少となりました。これは未払法人税等が9億33百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、26億66百万円で前連結会計年度末と比較して12億円の増加となりました。これは主に資産除去債務11億55百万円計上に伴う増加等であります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して68百万円増加して275億65百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は3億48百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益11億18百万円の獲得、減価償却費4億7百万円及び資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額3億61百万円等によるものであり、減少の主なものは、法人税等の支払が14億42百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては8億65百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出7億13百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては5億8百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払3億96百万円の資金支出を行ったこと及びファイナンス・リース債務返済支出が1億11百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して10億31百万円減少し、74億65百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却費の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ22,255千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は383,716千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,155,359千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,465,783	8,497,601
売掛金	1,602,780	1,945,734
商品	345	342
原材料及び貯蔵品	159,299	152,026
その他	379,039	545,335
貸倒引当金	△13,179	△13,788
流動資産合計	9,594,068	11,127,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,047,754	11,003,076
土地	2,592,943	2,592,943
その他(純額)	1,691,032	1,582,940
有形固定資産合計	16,331,731	15,178,961
無形固定資産		
その他	76,245	80,843
無形固定資産合計	76,245	80,843
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,662,102	6,512,871
その他	1,475,859	1,351,240
投資その他の資産合計	8,137,962	7,864,112
固定資産合計	24,545,938	23,123,916
資産合計	34,140,007	34,251,169
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,060,028	1,274,076
未払金	1,403,785	1,726,997
未払法人税等	472,773	1,406,095
引当金	40,853	42,937
その他	930,403	837,632
流動負債合計	3,907,845	5,287,739
固定負債		
引当金	55,163	51,825
資産除去債務	1,155,359	—
その他	1,455,963	1,414,390
固定負債合計	2,666,486	1,466,215
負債合計	6,574,331	6,753,955

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,799	3,038,799
利益剰余金	22,977,607	22,898,638
自己株式	△175,441	△175,286
株主資本合計	27,572,143	27,493,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,488	19,307
為替換算調整勘定	△14,957	△15,422
評価・換算差額等合計	△6,468	3,884
純資産合計	27,565,675	27,497,213
負債純資産合計	34,140,007	34,251,169

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	9,103,587	9,820,783
売上原価	2,091,759	2,195,156
売上総利益	7,011,827	7,625,627
販売費及び一般管理費	5,781,994	6,159,015
営業利益	1,229,833	1,466,611
営業外収益		
受取利息	608	3,158
受取配当金	1,670	1,418
受取賃貸料	28,750	26,721
その他	15,969	26,594
営業外収益合計	46,999	57,892
営業外費用		
支払賃借料	23,058	22,980
為替差損	3,416	7,017
持分法による投資損失	1,808	444
その他	5,417	7,050
営業外費用合計	33,700	37,493
経常利益	1,243,132	1,487,011
特別利益		
貸倒引当金戻入額	444	608
特別利益合計	444	608
特別損失		
固定資産除却損	20,658	7,221
減損損失	1,669	521
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	361,460
特別損失合計	22,327	369,203
税金等調整前四半期純利益	1,221,248	1,118,415
法人税、住民税及び事業税	442,300	509,630
法人税等調整額	97,132	8,821
法人税等合計	539,432	518,451
少数株主損益調整前四半期純利益	681,816	599,964
少数株主利益	—	—
四半期純利益	681,816	599,964

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,221,248	1,118,415
減価償却費	343,082	407,572
減損損失	1,669	521
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	361,460
その他の引当金の増減額 (△は減少)	1,562	1,254
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△444	△608
受取利息及び受取配当金	△2,279	△4,576
支払利息	3,218	3,040
為替差損益 (△は益)	3,416	7,017
持分法による投資損益 (△は益)	1,808	444
固定資産除却損	20,658	7,221
売上債権の増減額 (△は増加)	258,500	342,954
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,662	△7,275
仕入債務の増減額 (△は減少)	△129,978	△214,048
未払金の増減額 (△は減少)	△73,898	△267,559
その他	126,590	37,432
小計	1,759,491	1,793,266
利息及び配当金の受取額	1,686	1,428
利息の支払額	△3,022	△2,999
法人税等の支払額	△1,274,572	△1,442,951
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,582	348,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△504,218	△713,891
有形固定資産の除却による支出	△5,934	△4,552
無形固定資産の取得による支出	—	△1,100
投資有価証券の取得による支出	△19	△17
その他	△142,907	△145,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653,078	△865,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△528	△155
配当金の支払額	△324,904	△396,890
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△71,799	△111,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397,233	△508,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,416	△7,017
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△570,146	△1,031,817
現金及び現金同等物の期首残高	6,510,970	8,497,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,940,824	7,465,783

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、外食事業を展開する上で必要なインフラ機能（業態・商品開発機能、店舗開発機能、教育機能、管理機能等）を保有する持株会社であり、グループ内の事業子会社が保有する既存の業態（既存店）の運営にできるだけ専念できる環境をつくるなどグループ内の機能設計を行っております。また各連結子会社はそれぞれ外食業態の運営を行っております。

したがって、当社グループは連結子会社を基礎としたセグメントから構成されており、「レストラン事業」及び「ファーストフード事業」の2つを報告セグメントとしております。

「レストラン事業」は、「ベーカリーレストラン・サンマルク」等の運営、「すし処函館市場」の運営、「ベーカリーレストラン・バケット」等の運営、「生麺工房鎌倉パスタ」等の運営及び「広東炒飯店（石焼ごはん倶楽部・石焼チャーハン店）」等の運営を行っております。「ファーストフード事業」は、「サンマルクカフェ」等の運営を行っております。

2. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	5,371,468	3,995,396	9,366,864	453,919	9,820,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,371,468	3,995,396	9,366,864	453,919	9,820,783
セグメント利益	973,211	689,040	1,662,251	△195,639	1,466,611

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価98,153千円、各報告セグメントに配分していない全社費用551,406千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

当第1四半期連結会計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は前記8ページ「(5)セグメント情報 2. 事業の種類別セグメント情報」の調整額の欄に開示しております。

(1) 仕入実績

当第1四半期連結会計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	1,292,116	105.9
ファーストフード	807,822	100.5
合計	2,099,939	103.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	5,371,468	109.0
ファーストフード	3,995,396	105.3
合計	9,366,864	107.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第1四半期連結会計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類別 セグメント	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
レストラン	4,634,187	113.3	206,754	80.3	530,525	91.4	5,371,468	109.0
ファーストフード	3,870,271	105.4	21,301	101.9	103,823	103.2	3,995,396	105.3
合計	8,504,458	109.6	228,056	81.9	634,349	93.1	9,366,864	107.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。